

新学習指導要領を反映した中学生向け副教材 「消費者センスを身につけよう」等の作成(22年度)

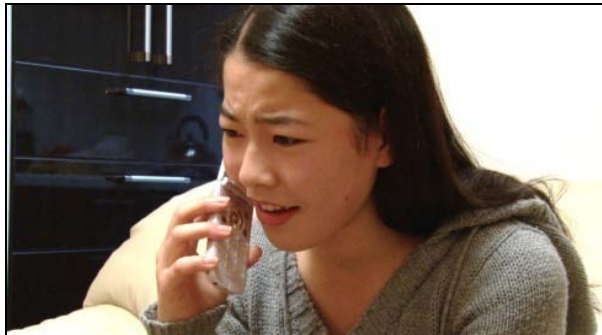
新学習指導要領においても現行学習指導要領の「生きる力」をはぐくむという基本理念が引き継がれる。

“消費者センス”とは、消費者教育における「生きる力」である。消費者トラブルや事故に遭いそうになった時に、その危険を察知し回避する力を身につけることが重要である。

本教材は、“消費者センス”を身につけることをねらいとして、映像教材(2編)と冊子教材としている。教師用解説書では、授業展開例なども組み込み、活用していただきやすいような構成としている。



DVD



《携帯電話の落とし穴》

占い好きの中学生のケイコさん。街でもらったティッシュの広告に無料と書いてあった占いサイトにアクセスした彼女を突如襲ったトラブルとは…？

身に覚えのない請求には無視すればいい？！

毎日毎日届く支払請求のメール。日に日に不安は高まり、追い詰められ…

《商品を購入する時には—自転車を例に考えよう—》

自転車の購入を検討している中学生のツトム君は、インターネットで購入しようと考えているようですが…。商品の購入に当たり安易な気持ちでの選択がどういう結果をもたらすことになるのか、特に自分の生命をゆだねるような商品を購入する際には慎重に選択しないと…



冊子教材

<目次>

1. 中学生はこんな消費者トラブルに巻き込まれている！なぜだろう？
2. たくみにだます人がいる
3. だまされない消費者になるために
4. 安全を守るために、注意することは何だろう？
5. 消費者が権利を実現し、責任を果たすとはどんなこと？
6. あなたの消費者センスをたしかめてみよう
7. 企業や行政のとらきみ



教師用解説書



A4判、32ページ

<目次>

1. 消費者センスは、今と未来の「生きる力」
2. 身につけたい批判的思考力ーだまされてしまう人間の課題
3. ネット社会の“やみ”に巻き込まれている中学生
4. 教材紹介
 - (1) 生徒用冊子教材『消費者センスを身につけよう』(解説と発展)
 - (2) 映像教材の利用の仕方
 - ①「携帯電話の落とし穴」
 - ②「商品を購入する時にはー自転車為例に考えようー」

5. 授業の展開例

- (1)「携帯電話の落とし穴」の展開例
 - ①社会科(公民的分野)
 - ②技術・家庭科(家庭分野)
 - (2)「商品を購入する時にはー自転車為例に考えようー」の展開例
 - ①社会科(公民的分野)
 - ②技術・家庭科(家庭分野)
6. 生活の中の消費者問題と消費者教育の指導プロセス

若者・高校生向け消費者教育用副教材 「もしあなたが消費者トラブルにあったら」

【これからの社会を担う若者・高校生世代】

- ・消費者被害・事故に遭わない賢い消費者に育てる。
- ・「消費者」の権利と責任を自覚し、自立した消費者となることの大切さへ気づきを促す。

【本教材の特徴】

- ・映像教材(DVD)と冊子教材では、それぞれ単独でも併用でも使用できる。
- ・教師用解説書では、消費者教育の専門でない教員が教えることを想定。

(平成24年2月公表)

映像教材(DVD)



若者・高校生が巻き込まれやすい消費者トラブル事例を収録。

授業内容等に合わせ選択できるよう、全編再生だけでなく、各事例の単独再生も可能。

【掲載事例】

- ・ネットショッピングの落とし穴 (インターネットによるトラブル)
- ・おしゃれのリスク (製品事故によるトラブル)
- ・もうけ話にご用心 (連鎖販売取引によるトラブル)

※字幕版あり

冊子教材

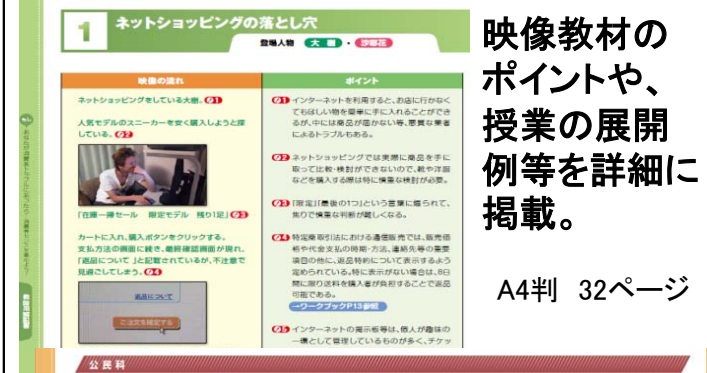


新学習指導要領に対応し、ワークブックとしても使用が可能。

A4判 16ページ



教師用解説書



映像教材のポイントや、授業の展開例等を詳細に掲載。

A4判 32ページ

